

特別国民体育大会冬季大会

参加・宿泊申込手引

1 目次

(1) 参加申込について

- ① 特別国民体育大会の参加に係る留意事項並びに参加申込手続きについて
・・・ P 1 ・ 2
 - ② 競技日程・式典日程
・・・ P 3 ～ 9
 - ③ 実施要項・宿泊要項
スケート競技会・アイスホッケー競技会実施要項
・・・別冊 1
スキー競技会実施要項
・・・別冊 2
 - ④ 監督への公認スポーツ指導者資格義務付けに伴う第 77 回国民体育大会
・特別国民体育大会冬季大会における取扱いについて
・・・ P 10
 - ⑤ 参加申込選手異字体報告書及び記入例
・・・ P 11 ・ 12
 - ⑥ 参加選手・監督【交代（変更）届・棄権届】及び手続きにあたっての留意事項
スケート競技会・アイスホッケー競技会
・・・ P 13 ・ 14
スキー競技会
・・・ P 15 ・ 16
 - ~~⑦ 公印事前押印願書及び記入例
・・・ P 17 ・ 18~~
 - ⑧ 監督・選手の派遣に関する調査表（特別国民体育大会用）
及び記入例
・・・ P 19 ・ 20
 - ⑨ 国民体育大会展望
・・・ P 21
 - ⑩ 国民体育大会参加負担金・傷害補償制度負担金納入一覧表見本
及び国民体育大会参加者傷害補償制度あらまし
・・・ P 22 ～ 25
(※東北総体申込時，書類提出していない選手用)
 - ⑪ ふるさと選手制度について，様式 1，様式 2
・・・ P 26 ～ 28
(※東北総体申込時，書類提出していない選手用)
 - ⑫ 特別国民体育大会冬季大会における参加資格確認書
(成年種別選手用・少年種別選手用・監督用)
・・・ P 29 ～ 34
- #### (2) ドーピング検査について
- ① 国民体育大会におけるドーピング検査について
・・・ P 35 ・ 36
 - ② 国民体育大会における「治療使用特例（TUE）」
・・・ P 37



特別国民体育大会の参加に係る留意事項並びに参加申込手続きについて

1 大会参加に係る留意事項

- (1) 国体参加申込は、日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システムを利用します。参加申込にあたっては、当協会HP様式一覧内の「国民体育大会参加申込システム」に操作方法等載せておりますので、参考として申込願います。
- (2) 選手・監督の選出にあつては、国民体育大会実施要項総則並びに中央競技団体の参加資格等に照らし合わせ、違反することのないよう留意願います。
「ふるさと選手制度」を活用して参加する選手については、「登録」が必要です。
- (3) 宿泊については開催県実行委員会の配宿になります。特に、各競技団体において独自に宿舎を指定することのないよう注意願います。
- (4) 選手の健康管理については、健康診断を実施するなど十分に留意願います。

2 参加申込みの手続き

- (1) 申込手続き日
各競技団体の申込手続き日は、別に通知いたします。指定された日程で都合がつかない場合は、必着での郵送・電子メールで送付いただくか、事前に事務局に連絡ください。
- (2) 申込提出先
公益財団法人宮城県スポーツ協会スポーツ推進部競技スポーツ推進課 宛て
〒 981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
メール：kyo-spo@mspf.jp
- (3) 提出書類等

項 目	提出部数	確 認
(1) 特別国民体育大会冬季大会参加申込書（申込システムから印刷）	各種別1部	☐
(2) 競技団体が独自に求められている添付書類（※1 関係競技団体）	必要部数	☐
(3) インターネット宿泊申込（競技団体が仮登録を印刷）	各種別1部	☐
(4) 監督・選手の派遣に関する調査表（※2 データをメールでも提出）	1部	☐
(5) 国民体育大会展望（※2 データをメールでも提出）	1部	☐
(6) 参加負担金・傷害補償制度負担金（※3）納入一覧表	全参加者分	☐
(7) ふるさと選手登録関係（申請あれば様式1・2及びシステム印刷）	申請者分	☐
(8) 特別国民体育大会冬季大会における参加資格確認書（※3）		☐

※1 【添付書類が必要な競技団体】

・スケート ・スキー

国体参加申込システム「お知らせ一覧」から添付資料をダウンロードし、必要事項を入力の上、申し込み手続きをする競技や、予選会記録やライセンスなどの資料を開催地実行委員会等に提出しなければならない競技団体は、以上のとおりです。

※2 文書やファイルにパスワードをかけて保護し、県スポ協へお知らせ下さい。

※3 東北総体申込時に書類提出していない選手のみ提出願います。（参加負担金は全員分徴収）

(4)「負担金」の納入

① 大会参加負担金（1人あたり）

区分	負担金
少年の種別に参加する選手	2,000円
上記以外の者（本部役員、監督、成年および女子の種別に参加する選手等）	4,000円

② 国体参加者傷害補償制度負担金

⇒ 東北総体を実施しない競技の監督及び選手、1人につき 500円×参加申込人数
（加入負担金は1人1,000円ですが、県から500円の補助が出ます。）

別紙納入一覧表を提出し、参加人数等が確定しましたら当協会から振込用紙を送付します
ので、①及び②を一括して御振込下さい。 ※現金での徴収は致しませんので御留意願います。

4 その他

- (1) 各項目の要領、注意事項を確認のうえ、適正に手続きしてください。
- (2) 提出期限に余裕がないため事前に準備をし、提出期日に遅れないようにしてください。
- (3) 些細なことであっても、疑問がある場合は必ず事務局に連絡してください。
- (4) 提出する全ての書類は、必ず控えを取り貴団体事務局で保管してください。

1 競技会日程と会場一覧表

【正式競技：スケート、アイスホッケー】

会 場 地	式典・競技		日 程								会 場	所 在 地	
			2023 年 1 月				2 月						
			28 (土)	29 (日)	30 (月)	31 (火)	1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)			5 (日)
八 戸 市	開 始 式										八戸市公会堂	八戸市内丸一 丁目 1 番 1 号	
	表 彰 式 (スケート)						午後 ○				Y S アリーナ 八戸	八戸市大字売 市字興遊下 3 番地	
	表 彰 式 (アイスホッケー)									午後 ○			
	ス ケ ー ト	ス ピ ー ド			○	○	○	○				Y S アリーナ 八戸	八戸市大字売 市字興遊下 3 番地
		シ ョ ー ト ト ラ ッ ク	○	○								テクノルアイ スパーク八戸	八戸市新井田 西四丁目 1 番 1 号
		フ ィ ギ ュ ア	○	○	○	午前 ○						FLAT HACHINOHE	八戸市大字尻 内町字三条目 7 番地 7
	アイスホッケー						○	○	○	○	○	テクノルアイ スパーク八戸	八戸市新井田 西四丁目 1 番 1 号
						○	○	○	○	○	FLAT HACHINOHE	八戸市大字尻 内町字三条目 7 番地 7	
						○	○	○	○		ふくちアイス アリーナ	南部町大字苫 米地字上根岸 73 番地 1	
南 部 町													

全国会議

	全国代表者会議	全国報道員会議
日 時	2023 年 1 月 27 日(金) 13 : 00～	2023 年 1 月 27 日(金) 15 : 00～
会 場	八戸グランドホテル	八戸グランドホテル
住 所	〒031-0031 八戸市番町14番地	〒031-0031 八戸市番町14番地
電話番号	0178-46-1234	0178-46-1234

1 競技会日程と会場一覧

1 スキー競技会

会場地	式典・競技		日 程				会 場	所 在 地
			2023 年 2 月					
			17 日 (金)	18 日 (土)	19 日 (日)	20 日 (月)		
八幡平市	開 始 式		◎				八幡平市総合運動公園体育館	八幡平市大更 37-105- 2
	表 彰 式					◎		
	ジャイアントスラローム			○	○	○	安比高原スキー場	八幡平市安比高原
	スぺシャルジャンプ		◇	○			矢神飛躍台	八幡平市矢神地内
	コンバインド	ジャンプ	◇ ◆		○			
		クロスカントリー			○			
	クロスカントリー			○	○	○		

(凡例) ◎開始式・表彰式 ○競技日 ◇公式練習日 ◆予備ラウンド

2 全国会議

会 議 名	開催方法	日程
全国代表者会議	別途通知	別途通知
全国報道員会議		

3 監督会議

会 議 名	日 時	会 場	所在地
ジャイアントスラローム	2023 年 2 月 16 日 (木) 14 : 30	安比プラザ	八幡平市安比高原
スぺシャルジャンプ コンバインド	2023 年 2 月 16 日 (木) 14 : 30	八幡平市田山スキー場 スキーセンター 2F	八幡平市矢神 8 - 1
クロスカントリー	2023 年 2 月 16 日 (木) 14 : 30	八幡平市田山体育館	八幡平市田中下タ 78

2 スキー競技実施要項

1 開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするスポーツの祭典である。

岩手県で開催する特別国民体育大会冬季大会スキー競技会「いわて八幡平白銀国体」は、「白銀に映えるみんなの 夢・未来」のスローガンに、県民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で大会に参画し、スポーツの楽しみや喜びを得ることにより「県民誰もが健やかで輝く岩手の創造」の実現に寄与することを目指すとともに、本県で開催した「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」のレガシーを最大限活用し、復興の姿や本県の魅力を全国に発信する大会として開催する。

2 実施種目

正式競技：ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、コンバインド、
クロスカントリー

3 期 間

2023年2月17日(金)～2月20日(月) (4日間)

4 開催地

岩手県八幡平市

5 日程及び会場

期日	時間	会議・式典・競技	会場
2月16日(木)	14:30	監督会議 ジャイアントスラローム スペシャルジャンプ・コンバインド クロスカントリー	安比プラザ 田山スキー場スキーセンター2F 田山体育館
第1日目 17日(金)	9:00	スペシャルジャンプ 公式練習(HS=87m) コンバインド 公式練習(予備飛躍)HS=87m	矢神飛躍台
	14:00	開始式	八幡平市総合運動公園体育館
第2日目 18日(土)	9:00	ジャイアントスラローム 成年男子A、成年女子A、成年男子B	安比高原スキー場
	9:00	スペシャルジャンプ(HS=87m) 少年男子、成年男子B・A	矢神飛躍台
	9:30	クロスカントリー(クラシカル) 少年男子、成年男子A・B	田山クロスカントリーコース
第3日目 19日(日)	9:00	ジャイアントスラローム 成年男子C、成年女子B、少年女子	安比高原スキー場
	9:00	コンバインドジャンプ(HS=87m) 少年男子、成年男子B・A	矢神飛躍台
	9:30	クロスカントリー(クラシカル) 成年男子C、少年女子、成年女子A・B	田山クロスカントリーコース
	13:30	コンバインドクロスカントリー(フリー) 成年男子B、少年男子、成年男子A	田山クロスカントリーコース
第4日目 20日(月)	9:00	ジャイアントスラローム 少年男子	安比高原スキー場
	9:00	リレー(フリー) 女子	田山クロスカントリーコース
	11:00	リレー(フリー) 成年男子	田山クロスカントリーコース
	11:10	リレー(フリー) 少年男子	田山クロスカントリーコース
	16:00	表彰式	八幡平市総合運動公園体育館

3 式典次第

【特別国民体育大会冬季大会スキー競技会】 開 始 式

期日 2023 年 2 月 17 日（金）
会場 八幡平市総合運動公園体育館

順	次 第	時 刻
1	開 場	14 : 00
2	役 員 ・ 選 手 団 集 合 開 始	14 : 15
3	役 員 ・ 選 手 団 着 席 完 了	14 : 49
4	歓 迎 ア ト ラ ク シ ョ ン	14 : 50
5	参 加 都 道 府 県 旗 入 場 ・ 選 手 団 紹 介	15 : 15
6	開 式 通 告	15 : 40
7	競 技 会 開 始 宣 言	15 : 41
8	国 旗 儀 礼	15 : 44
9	大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗儀礼	15 : 46
10	大 会 会 長 ト ロ フ ィ ー 返 還	15 : 48
11	日 本 ス ポ ー ツ 協 会 あ い さ つ	15 : 52
12	ス ポ ー ツ 庁 あ い さ つ	15 : 55
13	中 央 競 技 団 体 あ い さ つ	15 : 58
14	歓 迎 の こ と ば	16 : 01
15	選 手 代 表 宣 誓	16 : 10
16	閉 式 通 告	16 : 13
17	役 員 ・ 選 手 団 解 散	16 : 14

【特別国民体育大会冬季大会スキー競技会】 表 彰 式

期日 2023 年 2 月 20 日（月）
会場 八幡平市総合運動公園体育館

順	次 第	時 刻
1	開 場	15 : 00
2	役 員 ・ 選 手 団 集 合 開 始	15 : 30
3	役 員 ・ 選 手 団 着 席 完 了	15 : 59
4	開 式 通 告	16 : 00
5	成 績 発 表	16 : 01
6	競 技 会 表 彰 状 授 与	16 : 09
7	競 技 会 大 会 会 長 ト ロ フ ィ ー 授 与	16 : 25
8	中 央 競 技 団 体 あ い さ つ	16 : 28
9	会 場 地 あ い さ つ	16 : 31
10	国 旗 儀 礼	16 : 34
11	競 技 会 終 了 宣 言	16 : 36
12	閉 式 通 告	16 : 37
13	役 員 ・ 選 手 団 解 散	16 : 38

**監督への公認スポーツ指導者資格義務付けに伴う
第 77 回国民体育大会・特別国民体育大会冬季大会における取扱いについて**

2022 年 4 月 14 日

■公認スポーツ指導者資格を保有する者

公認スポーツ指導者資格を保有する者とは、「大会参加時(都道府県予選会に申込を完了した時点から本大会終了時まで)に公認スポーツ指導者資格の登録状況が『有効』(資格が認定されている状態)である者」をいう。

※2022 年(令和 4 年)4 月 1 日(冬季大会は 2022 年(令和 4 年)10 月 1 日)時点で公認スポーツ指導者資格を有し、かつ有効期限が 2023 年(令和 5 年)3 月 31 日以降であること。

※有効期限が 2022 年(令和 4 年)9 月 30 日の者であっても、2022 年(令和 4 年)10 月 1 日付更新登録手続きを行える者は参加が可能。ただし、所定の期限までに更新登録手続きを行わなかった場合は参加不可。

■公認スポーツ指導者資格を保有する監督が参加できない場合の取扱い

- ・ 公認スポーツ指導者資格を保有する監督が参加できない場合、選手のみでは参加できない。
- ・ 選手が監督を兼任する競技・種目・種別においては、兼任する監督が公認スポーツ指導者資格を保有していない場合、当該チームは参加できない。

■参加可否一覧

【第 77 回本大会・ブロック大会】

資格状況 (大会参加時)		資格有効期限	参加可否
資格者	有効	2023 年 3 月 31 日以降 (令和 5 年)	○
		2022 年 9 月 30 日 (令和 4 年)	○※ ×
	登録保留	—	×
	資格停止	—	×
2022 年(令和 4 年) 10 月 1 日付認定予定者		—	×
※2022 年(令和 4 年)10 月 1 日付更新登録手続きを行える者は参加が可能。 (所定の期限までに更新登録手続きを行わなかった場合は、参加不可)。			

【特別冬季大会】

資格状況 (大会参加時)		資格有効期限	参加可否
資格者	有効	2023 年 3 月 31 日以降 (令和 5 年)	○
	登録保留	—	×
	資格停止	—	×
2023 年(令和 5 年) 4 月 1 日付認定予定者		—	×

特別国民体育大会参加申込選手異字体報告

競技

団体名

記載責任者名

異字体報告者数
名

番号	種別	種目	No.	訂正前	姓力ナ 姓漢字	・	名力ナ 名漢字
				訂正後	↓	・	↓
1				訂正前		・	
				訂正後		・	
2				訂正前		・	
				訂正後		・	
3				訂正前		・	
				訂正後		・	

※ 本様式は、参加申込システムへの入力手続きと同時に開催地都道府県実行委員会宛FAX送信してください。
※ 記入に際しましては、大きな文字で楷書にて正確にご記入ください。（プログラム等印刷物、表彰状筆耕にはこの報告書に記入された文字を用います。）
※ 氏名に異字体を含む参加者については、参加申込システムで当該者を入力する際、「異字体」チェック欄にチェックを入れてください。

特別国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー 参加選手・監督【交代（変更）届・棄権届】

※手続きにあたっては、次ページの留意事項を参照すること

※「交代（変更）届」又は
「棄権届」のいずれかを
○で囲むこと

1 参加申込者

競技名		種別		部・種目別	
参加申込者名					

2 交代（変更）・棄権の理由（該当する番号に○をつけ、症状や具体的な内容をチェック又は記述）

1. 体調不良のため（コロナ関連以外）（症状：_____）
2. 怪我のため
3. 一身上の都合
4. コロナ関連（_____）
5. その他（_____）

3 交代（変更）者 ※棄権の場合は記入不要

フリガナ			生年月日	(西暦) 年 月 日生 (歳)	
氏 名					
連絡先 (TEL) ※1			連絡先 (メール) ※1		
所属区分※2		所属の所在地※3			
プログラム掲載用所属					
第76回大会 参加都道府県名		第77回大会 参加都道府県名		例外適用※4	
中央競技団体 登録の有無	有 ・ 無	有 の 場 合 登 録 番 号 等			
その他の必要事項（身長、体重、記録等）					

※1 交代（変更）者が監督の場合は、連絡先を記入。

※2 特別大会（都道府県予選会、ブロック大会）所属都道府県について、次のいずれを選択して参加したかを記入。

成年種別 （ア. 居住地を示す現住所 イ. 勤務地 ウ. ふるさと）

少年種別 （ア. 居住地を示す現住所 イ. 学校教育法第1条に規定する学校の所在地 ウ. 勤務地
エ. 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地）

※3 所在地は、市区町村名まで記入。ふるさとを選択した場合には「卒業学校名」を記入。

※4 今回（特別大会）と第77回大会（不出場の場合は第76回大会）の参加都道府県が異なる場合のみ記入。

1. 新卒業者 2. 結婚又は離婚 3. ふるさと（成年） 4. 一家転住（少年）
5. JOC エリートアカデミー（少年） 6. 東日本大震災に係る特例措置

年 月 日

当該中央競技団体会長（代表者） 殿

特別国民体育大会冬季大会当該開催県実行委員会会長 殿

宮城県スポーツ協会

会長（代表者）

会長 鈴木 省三

協会・連盟

会長（代表者）

特別国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 参加選手・監督交代（変更）・棄権手続きにあたっての留意事項

1 交代（変更）手続き

特別な事情で選手又は監督を交代（変更）する場合には、次の手続きを行うこと。ただし、交代（変更）を認めるか否かについては、当該中央競技団体の判断による。

- (1) 実施要項総則及び当該競技実施要項を参照し、交代（変更）する選手又は監督の参加資格を確認した上で、交代（変更）届に必要な事項を記入し、各競技が定める提出期限までに、各競技が定める提出先宛に提出すること。
- (2) 添付書類（診断書等）については、各競技の定めにより提出すること。
- (3) その他、競技により別に定める事項がある場合はそれに従うこと。

2 棄権手続き

参加申込み締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、次の棄権手続きをとること。

- (1) 当該選手又は監督は、所属都道府県の連絡責任者へ連絡すること。連絡を受けた都道府県連絡責任者（※1）は、棄権届に必要な事項を記入し、当該競技会責任者（※2）、開催県実行委員会（※3）宛に提出すること。

なお、原本は提出後必ず保管し、下記3に従い、後日、公益財団法人日本スポーツ協会へ提出すること。

- (2) 中央競技団体への診断書等の添付は不要。
- (3) その他、競技により別に定める事項がある場合にはそれに従うこと。

3 大会終了後の手続き

大会終了後、都道府県体育・スポーツ協会並びに中央競技団体は次の手続きを行うこと。

- (1) 都道府県体育・スポーツ協会は、大会終了後通知される公益財団法人日本スポーツ協会の案内に従い、交代（変更）手続き後の参加申込み情報の修正を行うこと。ただし、棄権手続きの場合、参加申込み情報の修正は不要。
- (2) 大会終了後2週間以内に、下記を公益財団法人日本スポーツ協会に提出すること。
 - ア 中央競技団体は、交代（変更）届（写し）及び棄権届（写し）
 - イ 都道府県体育・スポーツ協会は、棄権届（原本）及び棄権届提出一覧

※1 都道府県選手団連絡責任者は、公益財団法人日本スポーツ協会が大会開催前に各都道府県体育・スポーツ協会に対し照会を行い、取りまとめの上、中央競技団体に通知する。

※2 競技会責任者及び指定連絡先は、公益財団法人日本スポーツ協会が大会開催前に各中央競技団体に対し照会を行い、取りまとめの上、都道府県体育・スポーツ協会に通知する。

※3 「1 交代（変更）届」と同様に「2 棄権届」についても、各競技が定める開催県実行委員会に提出すること。

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会

※「交代(変更)届」又は
「棄権届」のいずれかを
○で囲むこと

参加選手・監督【交代(変更)届・棄権届】

※手続きにあたっては、次ページの留意事項を参照すること

1 参加申込者

競技名		種別		種目*注) (階級)	
参加申込者名					

*注)階級制の競技においては種目欄に階級も記入

2 交代(変更)・棄権の理由(該当する番号に○をつけ、症状や具体的な内容をチェック又は記述)

1. 体調不良のため(コロナ関連以外)(症状: _____)
2. 怪我のため
3. 一身上の都合
4. コロナ関連(_____)
5. その他(_____)

3 交代(変更)者 ※棄権の場合は記入不要

フリガナ			生年月日	年 月 日生 (歳)	
氏 名					
連絡先 (TEL) ※1			連絡先 (メール) ※1		
所属区分※2		所属の所在地※3			
プログラム掲載用所属					
第76回大会参加 都道府県名		第77回大会参加 都道府県名		例外適用 ※4	
全日本スキー連盟 登録の有無	有 ・ 無	有の場合 番号等			
その他の必要事項 (身長、体重、記録、段位 等)					

※1 交代(変更)者が監督の場合は、連絡先を記入。

※2 特別大会(都道府県予選会、ブロック大会)所属都道府県について、次のいずれを選択して参加したかを記入。

成年種別 (ア. 居住地を示す現住所 イ. 勤務地 ウ. ふるさと)

少年種別 (ア. 居住地を示す現住所 イ. 学校教育法第1条に規定する学校の所在地 ウ. 勤務地
エ. 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の
所在地

※3 所在地は、市区町名まで記入。ふるさとを選択した場合には「卒業学校名」を記入。

※4 今回(特別大会)と第77回大会(不出場の場合は第76回大会)の参加都道府県が異なる場合のみ記入。[1. 新卒業者 2. 結婚又は離婚 3. ふるさと(成年) 4. 一家転住(少年)、5. JOCエリートアカデミー(少年)、6. 東日本大震災に係る特例措置]

令和 年 月 日

ア 公益財団法人全日本スキー連盟会長 様

イ 特別国民体育大会冬季大会スキー競技会岩手県実行委員会会長 様

ウ いわて八幡平白銀国体八幡平市実行委員会会長 様

宮城県スポーツ協会

会長(代表者) 会長 鈴木 省三

協会・連盟

会長(代表者)

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会

参加選手・監督交代（変更）・棄権手続きにあたっての留意事項

1 交代（変更）手続

特別な事情で選手又は監督を交代（変更）する場合には、次の手続を行うこと。ただし、交代（変更）を認めるか否かについては、公益財団法人全日本スキー連盟（以下「全日本スキー連盟」という。）の判断による。

- (1) スキー競技実施要項を参照し、交代（変更）する選手又は監督の参加資格を確認した上で、交代（変更）届に必要な事項を記入し、所定の提出期限までに、全日本スキー連盟及び特別国民体育大会冬季大会スキー競技会岩手県実行委員会（以下、「県実行委員会」という。）事務局宛に提出すること。
- (2) 全日本スキー連盟提出用には、同連盟に確認の上、診断書等必要書類を添付すること。また、県実行委員会にも送付すること。
- (3) その他、競技により別に定める事項がある場合はそれに従うこと。

2 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、次の棄権手続をとること。

- (1) 当該選手又は監督は、所属都道府県の連絡責任者へ連絡すること。連絡を受けた都道府県連絡責任者は、棄権届に必要な事項を記入し、スキー競技会責任者※宛に指定の連絡方法にて提出すること。
なお、提出した棄権届は必ず保管し、下記3に従い、後日、公益財団法人日本スポーツ協会（以下、「日本スポーツ協会」という。）へ提出すること。
- (2) 全日本スキー連盟への診断書等の添付は不要。
- (3) その他、競技により別に定める事項がある場合はそれに従うこと。

3 大会終了後の手続

大会終了後、都道府県体育・スポーツ協会並びに全日本スキー連盟は次の手続を行うこと。

- (1) 都道府県体育・スポーツ協会は、大会終了後通知される日本スポーツ協会からの案内に従い、交代（変更）手続後の参加申込情報の修正を行うこと。ただし、棄権手続の場合、参加申込情報の修正は不要。
- (2) 大会終了後2週間以内に、次のものを日本スポーツ協会に提出すること。
 - ア 全日本スキー連盟は、交代（変更）届及び棄権届
 - イ 都道府県体育・スポーツ協会は、棄権届及び棄権届提出一覧

※1 「都道府県選手団連絡責任者」は、日本スポーツ協会が大会開催前に各都道府県体育・スポーツ協会に対し照会を行い、取りまとめの上、全日本スキー連盟に通知する。

※2 「競技会責任者」及び「指定連絡方法」は、日本スポーツ協会が大会開催前に全日本スキー連盟に対し、照会を行い、取りまとめの上、都道府県体育・スポーツ協会に通知する。

※3 「1 交代（変更）届」と同様に「2 棄権届」についても、県実行委員会及びいわて八幡平白銀国体八幡平市実行委員会に提出すること。

監督・選手の派遣に関する調査表(特別国民体育大会用)

記入者名

連絡先 TEL

連絡先所属名

No	競技名	種別	区分	監督・選手氏名	年齢	出身地	現住所	職業 (学年)	所属	派遣依頼文書宛名	発送用封筒(タックシール)			県立 ○or×
											宛名	郵便番号	所在地	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

- 1 要項に示された人員を、種別毎に空欄のないように記入し、競技名・種別及び区分についてはリストの中から選択ください。
- 2 年齢については、実施年度の4月1日現在の年齢を記入ください。※参加申込システムが令和2年から変更になったため。
- 3 現住所・学年・郵便番号・所在地の数字は、すべて半角で記入ください。
- 4 現住所は、マンション・アパート・下宿等にお住まいの場合は、マンション・アパート・下宿名及び部屋番号まで記入してください。
- 5 職業は「会社員、公務員、教員、職員、自営」等と記入ください。学生の場合は「学年」を記入し、大学院生の場合は「大学院○年生」等と記入ください。無職(主婦を含む)の場合は「宮城県○○協会・連盟」と記入ください。
- 6 所属は、県立高等学校の場合は「宮城県」を除いた「○○高等学校」と記入ください。公立小中学校の場合は「○○市町村立△△中学校」などと記入ください。私立学校の場合は「□□□法人」等は除いて記入ください。
- 7 派遣依頼文書宛名は、実際に文書の左上に印字されます。 ◆株式会社○○商事代表取締役社長、○○銀行総務部長、県立高等学校の場合は「宮城県」の除いた○○高等学校長、○○大学 学長など。個人名までは必要ありません。
- 8 発送用封筒宛名は、封筒に貼付するタックシールに印字されます。 ◆株式会社○○商事代表取締役社長、○○銀行総務部長、宮城県○○高等学校長、○○大学 学長など。個人名までは必要ありません。
- 9 発送用封筒所在地は、封筒に貼付するタックシールに印字されます。 ◆勤務者は勤務地、自営者は自宅、在学者は学校所在地(大学は学部により異なることがあるので要注意)が原則です。
- 10 「県立」は、県立学校の場合のみリストから「県立」を選択ください。

国民体育大会 大会展望

次の事項について，箇条書きで記入してください。
また，報道関係へのPR用として重要な資料となりますので，必ず提出願います。

No	回答欄	
1 競技団体名		
2 当該大会における具体的な目標		
3 有望チーム・選手・種目等	1.	
	2.	
	3.	
4 3における実績	1.	
	2.	
	3.	
5 その他アピールポイント		

記載責任者

連絡先

【別 紙】

特別国民体育大会 参加負担金・傷害補償制度負担金納入一覧表

競技団体名

※1成年種別、少年種別の監督は、監督欄に入れてください。

種 別		国民体育大会					合計 納入額 (振込) ※ (①+②)	
		参加料①				国体傷害補償②		
		成年種別		少年種別		本大会の みの参加		負担②
		人数	人数× @4,000円	人数	人数× @2,000円	人数	人数× @500	
監督(※1)			円	入力できません。			円	円
成年男子			円	入力できません。			円	円
成年女子			円	入力できません。			円	円
少年男子		入力できません。			円		円	円
少年女子		入力できません。			円		円	円
男子			円	入力できません。			円	円
女子			円	入力できません。			円	円
			円		円		円	円
合 計		人	円	人	円	人	円	円

国民体育大会の参加料は、成年種別1人当たり@4,000円、少年種別一人当たり@2,000円です。
(補足)

男子または女子種別(成年少年の区別がないもの)で参加する場合は、成年少年問わず1人当たり@4,000円の成年種別料金となります。

国体傷害補償は、下記のとおり、競技団体負担1人当たり@500円です。

1人当たり内訳：

競技団体負担金 + 県補助 = (公財)日本スポーツ協会傷害保険加入申込金
(@500円 + @500円) = @1,000円

国体傷害補償は、県が半額負担しています。

〔本大会のみ参加者数とは・・・〕

国民体育大会本大会において実施される正式競技種目及び特別競技種目の本大会のみに参加する選手及び監督。

ブロック予選会参加者は重複して負担の必要はありません。

①及び②を一括して、宮城県スポーツ協会事務局での参加申込み時に、納入金額確認の上、振込用紙にて、御振込頂きます。 ※現金での徴収は致しませんので御留意願います。

【別 紙】

特別国民体育大会 参加負担金・傷害補償制度負担金納入一覧表

競技団体名

※1成年種別、少年種別の監督は、監督欄に入れてください。

		国民体育大会					合計 納入額 (振込) ※ (①)+(②)
		参加料①			国体傷害補償②		
種 別	成年種別		少年種別		本大会の みの参加	負担②	
	人数	人数× @4,000円	人数	人数× @2,000円	人数	人数× @500	
監督(※1)	1人	4,000円	入力できません。			円	4,000円
成年男子		円	入力できません。			円	円
成年女子		円	入力できません。			円	円
少年男子	入力できません。			円		円	円
少年女子	入力できません。			円		円	円
男子	2人	8,000円	入力できません。		2人	1,000円	9,000円
女子							
合 計	3人	12,000円	人	円	2人	1,000円	13,000円

競技種別が男子または女子の場合は、出場選手の年齢が中高生の場合でも成年と同料金です。

本大会からの出場者は、国体申込時に支払う

国民体育大会の参加料は、成年種別1人当たり@4,000円、少年種別一人当たり@2,000円です。
(補足)

男子または女子種別(成年少年の区別がないもの)で参加する場合は、成年少年問わず1人当たり@4,000円の成年種別料金となります。

国体傷害補償は、下記のとおり、競技団体負担1人当たり@500円です。

1人当たり内訳:

競技団体負担金 + 県補助 = (公財)日本スポーツ協会傷害保険加入申込金
(@500円 + @500円) = @1,000円

国体傷害補償は、県が半額負担しています。

〔本大会のみ参加者数とは・・・〕

国民体育大会本大会において実施される正式競技種目及び特別競技種目の本大会のみに参加する選手及び監督。

ブロック予選会参加者は重複して負担の必要はありません。

①及び②を一括して、宮城県スポーツ協会事務局での参加申込み時に、納入金額確認の上、振込用紙にて、御振込頂きます。 ※現金での徴収は致しませんので御留意願います。

国民体育大会参加者傷害補償制度のあらまし

(1) 補償対象者および傷害補償金・共済見舞金

①補償対象者

●選手及び監督

国民体育大会において実施される正式競技種目のブロック大会、本大会及び特別競技の本大会における競技に参加する選手及び監督

●選手団本部役員

ブロック大会及び本大会において編成される都道府県選手団本部役員（顧問を含む）

●視察員

ブロック大会及び本大会において編成され、各都道府県の視察員名簿に記載される者

●その他選手団役員

ブロック大会及び本大会において編成され、選手団本部役員以外に各都道府県の選手団名簿に記載される者

※選手団名簿に記載されておらず、都道府県競技団体が独自で派遣する者は対象外。

②傷害補償金・共済見舞金

傷害 補償金	死亡・後遺障害補償金		3,000万円	
	入院補償金（1日につき）		3,600円	180日限度
	通院補償金（1日につき）		2,400円	90日限度
共済 見舞金	疾病・傷害による 死亡・後遺障害		200万円	
	熱中症 見舞金	熱中症による入院	3,600円	180日限度
		熱中症による通院	2,400円	90日限度

(2) 補償期間（国民体育大会活動）※国民体育大会傷害補償制度給付規定 第4条

①ブロック大会参加中

公益財団法人日本スポーツ協会（以下「当協会」という。）及び各都道府県体育・スポーツ協会（以下「都道府県体育協会」という。）が主催する「国民体育大会ブロック大会」に参加するために自宅を出発してから自宅に帰るまでの間。ただし、各ブロック大会開会式、公式練習または各競技開始日のいずれか早い日の2日前から大会終了日の翌日までの間に限る。

②本大会参加中

当協会が主催する「国民体育大会（本大会）」に参加するために自宅を出発してから自宅に帰るまでの間。ただし、開会式（開始式）または公式練習のいずれか早い日の2日前から大会終了日の翌日までの間に限る。

③その他

各都道府県体育協会または各都道府県競技団体が主催または共催する、結団式または解団式に参加するために自宅を出発してから自宅に帰るまでの間。

※1 「国民体育大会活動」には、「ブロック大会・本大会に向けての強化練習または強化合宿」は含まない。

※2 本制度からの傷害補償金・共済見舞金は、生命保険、労災保険、健康保険、その他の傷害保険からの保険金や加害者からの賠償金などとは関係なく重複して支払われる。

※3 棄権・交代の取扱い

- ・棄権…補償期間①～③いずれかの活動に参加している場合は、参加者数に含める。

- ・交代…交代前・交代後の各選手が、補償期間①～③いずれかの活動に参加した場合は、それぞれ参加者数に含める。

[様式 1]

ふるさと登録届

公益財団法人宮城県スポーツ協会 会長 殿

宮城県 協会・連盟 会長 殿

届出日:令和 年 月 日

(ふりがな)	
氏 名	印
[性別] 1. 男 2. 女 *いずれかに○印を付けること。	
[生年月日] 年 月 日	

国民体育大会ふるさと選手制度により、私の「ふるさと」を【 宮 城 県 】として、次の通りお届けします。

1. 参加競技名(種別及び種目名を含む)

競技	種別	種目
----	----	----

2. 現住所

(ふりがな) 〒 -	電話番号
---------------	------

3. 連絡先

(ふりがな) 〒 -	電話番号
	携帯電話番号

4. 「ふるさと」に関する確認事項

(1) ふるさと登録の利用

利用回数
1. 初回
2. 2回目

* 1. 又は 2. のいずれかに○印

(2) 前回大会出場の所属都道府県名

回	都道府県
---	------

* 前回大会(予選会を含む)に出場の所属都道府県名を記載

(3) 卒業した学校名

(ふりがな)	卒業年月日
	年 月 卒業

* ○○高校又は○○中学校など学校名を明確に記載すること。

(4) 卒業した学校の所在地

(ふりがな) 〒 -	電話番号
---------------	------

* 都道府県名から記載すること。

ふるさと選手制度について

1. **成年種別に出場する選手**は、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができます。
(1) 居住地を示す現住所 (2) 勤務地 (3) ふるさと
2. 「ふるさと」とは、**卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校**のいずれかの**所在地が属する都道府県**としています。また、JOCエリートアカデミーに係る選手については、出場資格の特例措置項により出場することができます。
3. 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、**予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければなりません**。また、一度登録した「ふるさと」は変更できません。
4. ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までです。
5. 各競技団体が「ふるさと」登録をする際には、県スポーツ協会の大会参加申込み締切期日までに、「**日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システム**」上での申込及び**所定の様式**にて宮城県スポーツ協会宛に提出願います。

「ふるさと選手」制度の登録手続き方法について

1. 「日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システム」上での申込及び申込書提出
 - ① 各競技申込担当者が、インターネット上の「日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システム」にて、「ふるさと申込書」の入力を行う。
※注意 システム上にて、「競技参加申込書」の入力より前に「ふるさと申込書」の入力を行って下さい。「競技参加申込書」に反映されなくなります。
 - ② 入力後、「申込チェック」及び「確定」ボタンを押す。
 - ・「確定」と同時に、県ス協事務局に確定の通知メールが届きます。
 - ③ 「ふるさと申込書」を印刷し、県ス協へ提出願います。
2. 「ふるさと登録届」様式1・様式2の提出
 - ① 「様式1」は、参加者本人直筆、押印の上、申込人数分提出願います。
 - ② 「様式2」は、各競技団体で作成、公印の上、提出願います。

以上の提出書類を、各競技団体との申込手続き日に、御持参下さい。

特別国民体育大会冬季大会における参加資格確認書

「特別国民体育大会冬季大会実施要項総則」及び「特別国民体育大会冬季大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて特別国民体育大会冬季大会における成年種別年齢域の選手としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることをご報告します。

特別大会参加

所属都道府県：

競技名：

種目名：

記入日： 令和 年 月 日

氏名：

i. 過去大会(都道府県予選会を含む)の出場履歴 (※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 第76回大会〔冬季大会：愛知県・岐阜県〕 ※秋田県で開催予定であったスキー競技会については都道府県予選を含め「不参加」として扱う

出場 ・ 不出場		1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 4. 学校所在地(選手・少年) 5. JOCエリートアカデミー(選手・少年)
都・道 府・県		より 府・県

(2) 第77回大会〔冬季大会：栃木県・秋田県〕

出場 ・ 不出場		1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 4. 学校所在地(選手・少年) 5. JOCエリートアカデミー(選手・少年)
都・道 府・県		より 府・県

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

項目	確認内容	回答
(1)	※「いいえ」の場合	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。 はい ・ いいえ
(2)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(第76回・第77回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。 ※「いいえ」の場合 ※a～dのいずれかに ※該当していること	はい ・ いいえ
	a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第77回大会参加者： 2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 第76回大会参加、第77回大会不参加者： 2020～2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。	a. 新卒業者
	b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第77回大会参加者： 2021年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 第76回大会参加、第77回大会不参加者： 2020年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。	b. 結婚・離婚
	c. 「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用する、または解除する。	c. ふるさと
	d. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	d. 震災特例
(3)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、特別大会冬季大会において、複数競技に参加を申込んでいない。	はい ・ いいえ
(4)	健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であることが証明されている。	はい ・ いいえ
(5)	特別大会冬季大会の予選会(都道府県予選会やブロック大会)に参加する、又は参加した。 (※「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」対象者及び予選会免除対象大会出場者については、この限りでない)	はい ・ いいえ
(6)	ドーピング検査を受けることに同意する。	はい ・ いいえ
(7)	2022年4月1日現在、18歳以上である。(※2004年4月1日以前生まれ)	はい ・ いいえ

(2枚目へ続く)

特別国民体育大会冬季大会における参加資格確認書

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。（※回答欄の該当するものに丸をつける）

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 （※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2022年4月30日以前から当該競技会終了日までとする）	はい ・ <u>いいえ</u>
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ <u>いいえ</u>
	a. 少年種別年齢域に該当していた際、以下の要件のいずれも満たしていた。 ・ 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、1年以上在籍していた。 ・ 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」または「家族滞在」（中学3年生）に該当していた。	
	b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時において「留学」（大学に在学している、専修学校（専門学校）に在籍している）に該当しない。 ※大学等に在籍する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」と同等に扱う	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。（※該当するものに丸をつける）

いいえ（下線部付のいいえ）に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

【 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。（※回答欄の該当するものに丸をつける）

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前から当該競技会終了日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、2022年4月30日以前から10月31日までの総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 （『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている）	はい ・ <u>いいえ</u>
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	新型コロナウイルス感染症に伴う「特別国民体育大会に係る参加資格特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>

【2. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。（※回答欄の該当するものに丸をつける）

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前から当該競技会終了日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、2022年4月30日以前から10月31日のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 （『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている）	はい ・ <u>いいえ</u>
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	新型コロナウイルス感染症に伴う「特別国民体育大会に係る参加資格特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>

【3. ふるさと】

以下の要件をすべて満たしていること。（※回答欄の該当するものに丸をつける）

項目	確認内容	回答
(1)	当該都道府県を「国民体育大会ふるさと選手制度」に基づく「ふるさと」として、都道府県予選会の参加申込締切日までに登録している、または、過去大会参加時に登録を済ませている。	はい ・ <u>いいえ</u>
	※過去大会参加時に登録済の場合 一度登録した「ふるさと」と異なる都道府県を選択していない。	はい ・ <u>いいえ</u>
(2)	卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県を選択している。 （※「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する場合は、被災時に在籍していた学校の所在地）	はい ・ <u>いいえ</u>
	※学校名を明記 学校名 高等学校 ・ 中学校 ・ 小学校	
(3)	「ふるさと」の活用回数が2回以下である。 （※活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回まで。回数の数え方については、『特別国民体育大会冬季大会「実施要項総則第5項(2)所属都道府県」選択における事例」[https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html]を参照すること）	はい ・ <u>いいえ</u>
	※過去大会において「ふるさと」を活用したことがある場合 「ふるさと」を活用して出場した大会（都道府県予選会を含む）は以下のとおりである。 （※該当する大会に丸をつける） 【 62 ・ 63 ・ 64 ・ 65 ・ 66 ・ 67 ・ 68 ・ 69 ・ 70 ・ 71 ・ 72 ・ 73 ・ 74 ・ 75 ・ 76 ・ 77 】	

特別国民体育大会冬季大会における参加資格確認書

「特別国民体育大会冬季大会実施要項総則」及び「特別国民体育大会冬季大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて特別国民体育大会冬季大会における少年種別年齢域の選手としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることをご報告します。

特別大会参加
所属都道府県：

競技名：

種目名：

記入日： 令和 年 月 日

氏名：

i. 過去大会(都道府県予選を含む)の出場履歴 (※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 第76回大会〔冬季大会：愛知県・岐阜県〕 ※秋田県で開催予定であったスキー競技会については都道府県予選を含め「不参加」として扱う

出場	・	不出場

(2) 第77回大会〔冬季大会：栃木県・秋田県〕

出場	・	不出場

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

項目	確認内容	回答
(1)	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。 	はい ・ いいえ
※「いいえ」の場合	日本国籍を有しないが、次頁「日本国籍を有しない者の参加資格」の要件を満たしている。(※「日本国籍を有しない者の参加資格」についても回答すること)	はい ・ <u>いいえ</u>
(2)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(第76回・第77回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。 	はい ・ いいえ
※「いいえ」の場合 ※a～eのいずれかに ※該当していること	a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第77回大会参加者： 2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 第76回大会参加、第77回大会不参加者： 2020～2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第77回大会参加者： 2021年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 第76回大会参加、第77回大会不参加者： 2020年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 c. 以下のいずれかに該当する。 1) 第77回大会参加者： 第77回大会終了時から特別大会都道府県予選会までにやむを得ない理由により、一家転住した。 2) 第76回大会参加、第77回大会不参加者： 第76回大会終了時から特別大会都道府県予選会までにやむを得ない理由により、一家転住した。 d. JOCエリートアカデミーに在籍している。 e. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	a. 新卒業者 b. 結婚・離婚 c. 一家転住 d. JOCアカデミー e. 震災特例
(3)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、特別大会冬季大会において、複数競技に参加を申込んでいない。	はい ・ <u>いいえ</u>
(4)	健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であることが証明されている。	はい ・ <u>いいえ</u>
(5)	特別大会冬季大会の予選会(都道府県予選会やブロック大会)に参加する、又は参加した。 (※「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」対象者及び予選会免除対象大会出場者については、この限りでない)	はい ・ <u>いいえ</u>
(6)	ドーピング検査を受けることに同意する。	はい ・ <u>いいえ</u>
(7)	2022年4月1日現在、15歳以上18歳未満である。(※2004年4月2日以降から2007年4月1日以前生まれ) 	はい ・ <u>いいえ</u>
※「いいえ」の場合	2007年4月2日以降から2008年4月1日以前に生まれた中学3年生で、以下の競技(種目)のいずれかに出場する。 スケート、スキー	はい ・ <u>いいえ</u>

(2枚目へ続く)

特別国民体育大会冬季大会における参加資格確認書

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定する期間は、2022年4月30日以前から当該競技会終了日までとする)	はい ・ <u>いいえ</u>
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ <u>いいえ</u>
	a. 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、大会実施要項が定める参加申込時に1年以上在籍している。	
	b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」または「家族滞在」(中学3年生)に該当している。	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

- 【1. 居住地を示す現住所 2. 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地 3. 勤務地 4. 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前から当該競技会終了日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、2022年4月30日以前から10月31日までの総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ <u>いいえ</u>
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	新型コロナウイルス感染症に伴う「特別国民体育大会に係る参加資格特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>

【2. 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前から当該競技会終了日まで引き続き通学している学校の所在地である。	はい ・ <u>いいえ</u>
	※「いいえ」の場合 「『一家転住等』に伴う特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	新型コロナウイルス感染症に伴う「特別国民体育大会に係る参加資格特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
(2)	以下のいずれにも該当していない。 a. 休学中の者 b. 通信による教育を行う課程に学んでいる者 c. 高等学校の専攻科、別科に学んでいる者	はい ・ <u>いいえ</u>

【3. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前から当該競技会終了日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、2022年4月30日以前から10月31日のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ <u>いいえ</u>
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	新型コロナウイルス感染症に伴う「特別国民体育大会に係る参加資格特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>

【4. 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	都道府県予選会参加時から当該競技会終了日まで引き続き、JOCエリートアカデミーに在籍している。	はい ・ <u>いいえ</u>
(2)	卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択している。 JOCエリートアカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択している。	はい ・ <u>いいえ</u>
	※学校名を明記 学校名 小学校	
(3)	JOCエリートアカデミー在籍時に、第77回大会以前の国体に参加したことがある場合、その大会参加時に選択した所属都道府県と今回の都道府県は変更していない。	はい ・ <u>いいえ</u>

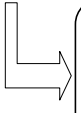
特別国民体育大会冬季大会における参加資格確認書

「特別国民体育大会冬季大会実施要項総則」及び「特別国民体育大会冬季大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて特別国民体育大会冬季大会における監督としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることをご報告します。

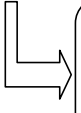
特別大会参加 所属都道府県：	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格 登録番号： 資格名： 有効期限： 年 月 日
競技名：	種目名：
記入日： 令和 年 月 日	氏名：

i. 過去大会(都道府県予選を含む)の出場履歴 (※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 第76回大会〔冬季大会：愛知県・岐阜県〕 ※秋田県で開催予定であったスキー競技会については都道府県予選を含め「不参加」として扱う

出場 ・ 不出場		都 ・ 道	より	府 ・ 県	を選択して出場
	()				

(2) 第77回大会〔冬季大会：栃木県・秋田県〕

出場 ・ 不出場		都 ・ 道	より	府 ・ 県	を選択して出場
	()				

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

項目	確認内容	回答
(1)	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。  ※「いいえ」の場合	はい ・ いいえ
	日本国籍を有しないが、次頁「日本国籍を有しない者の参加資格」の要件を満たしている。(※「日本国籍を有しない者の参加資格」についても回答すること)	はい ・ <u>いいえ</u>
	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(第76回・第77回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。  ※「いいえ」の場合 ※a～cのいずれかに ※該当していること	はい ・ いいえ
(2)	a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第77回大会参加者： 2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 第76回大会参加、第77回大会不参加者： 2020～2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。	a. 新卒業者
	b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第77回大会参加者： 2021年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 第76回大会参加、第77回大会不参加者： 2020年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。	b. 結婚・離婚
	c. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	c. 震災特例
(3)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、複数競技・種別に参加を申込んでいない。(※選手との兼任の場合も複数種別に出場できない。)	はい ・ <u>いいえ</u>
(4)	ドーピング検査を受けることに同意する。(※選手との兼任の場合のみ)	はい ・ <u>いいえ</u>
(5)	2022年4月1日現在、18歳以上である。(※2004年4月1日以前生まれ)	はい ・ <u>いいえ</u>

(2枚目へ続く)

特別国民体育大会冬季大会における参加資格確認書

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2022年4月30日以前から当該競技会終了日までとする)	はい ・ <u>いいえ</u>
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ <u>いいえ</u>
	a. 少年種別年齢域に該当していた際に、以下の要件のいずれも満たしていた。 ・ 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、1年以上在籍していた。 ・ 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」または「家族滞在」(中学3年生)に該当していた。	
	b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時において「留学」(大学に在学している、専修学校(専門学校)に在籍している)に該当しない。 ※大学等に在籍する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」と同等に扱う	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

【 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと(※選手との兼任の場合のみ) 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前から当該競技会終了日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、2022年4月30日以前から10月31日までの総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ <u>いいえ</u>
	 新型コロナウイルス感染症に伴う「特別国民体育大会に係る参加資格特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。 ※「いいえ」の場合	はい ・ <u>いいえ</u>

【2. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前から当該競技会終了日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、2022年4月30日以前から10月31日のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ <u>いいえ</u>
	 新型コロナウイルス感染症に伴う「特別国民体育大会に係る参加資格特例措置」を活用する。	はい ・ <u>いいえ</u>
	 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。 ※「いいえ」の場合	はい ・ <u>いいえ</u>

【3. ふるさと(選手兼任のみ)】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	当該都道府県を「国民体育大会ふるさと選手制度」に基づく「ふるさと」として、都道府県予選会の参加申込締切日までに登録している、または、過去大会参加時に登録を済ませている。	はい ・ <u>いいえ</u>
	 ※過去大会参加時 ※に登録済の場合 一度登録した「ふるさと」と異なる都道府県を選択していない。	はい ・ <u>いいえ</u>
(2)	卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県を選択している。 (※「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する場合は、被災時に在籍していた学校の所在地)	はい ・ <u>いいえ</u>
	 ※学校名を明記 学校名 高等学校 ・ 中学校 ・ 小学校	
(3)	「ふるさと」の活用回数が2回以下である。 (※活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回まで。回数のお互いについては、『特別国民体育大会冬季大会「実施要項総則第5項(2)所属都道府県」選択における事例』[https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html]を参照すること)	はい ・ <u>いいえ</u>
	 ※過去大会において「ふるさと」を活用したことがある場合 「ふるさと」を活用して出場した大会(都道府県予選会を含む)は以下のとおりである。 (※該当する大会に丸をつける) 【 62 ・ 63 ・ 64 ・ 65 ・ 66 ・ 67 ・ 68 ・ 69 ・ 70 ・ 71 ・ 72 ・ 73 ・ 74 ・ 75 ・ 76 ・ 77 】	

iv. 公認スポーツ指導者資格

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

項目	確認内容	回答
(1)	令和4(2022)年10月1日時点で日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を保有しており、登録証記載の有効期限が令和5(2023)年3月31日以降である。	はい ・ <u>いいえ</u>

がんばろう!宮城

～スポーツの力で笑顔と元気に～

公益財団法人 宮城県スポーツ協会